

全国で「農福連携」の動きが加速している。高齢化で担い手不足に悩む農業と、就労先が限られていた障害者福祉の現場がタッグを組み、障害者が作物の育成、加工、販売を手がけ、農業を下支えする取り組みだ。各地で進む連携の姿を追った。(橋間督)

京田辺市の障害者就労支援事業所「さんさん山城」は20種を超える作物を作り、府内の農福連携のトップランナー的存在だ。聴覚や知的、精神障害の約30人が通い、農作業や作物の加工を通じて就労に向けたトレーニングに励んでいる。

特に、自分たちで収穫した特産のエビイモで作るコロッケが好評だ。実が小さく、農協に出荷できない規格外のイモを調理室で加工し、施設内カフェのランチやイベントの即売会で提供。高級な日本料理店などでしか味わえない素材が手近に楽しめるため、イベントでは1日で300個を完売することも珍しくない。施設管理者の藤永実さん(64)は「自家製だから安価にせいたくはない方ができる。販売を通じて市民と触れあうことは利用者にとっ



エビイモを収穫する「さんさん山城」の利用者たち。人気のコロッケは施設の調理室で作られる(いずれも京田辺市)

農業福祉 担い手不足の助け 障害者就労先確保

連携 地域に笑顔

「担い手不足は深刻。特産品を守る仲間になって」と、地元農家も積極的に指導し、利用者たちははめきめきと技術を高めた。エビイモ、田辺ナス、宇治茶が主力で、宇治茶は育成に手間暇がかかる苗木も栽培。小口の茶農家に提供し、「苗木まではとも手が回らないから大助かりだ」と重宝されている。

開所当初は農産物や加工品の年間売り上げが200万円程度だったが、昨年度

は約800万円に増えた。施設に通う相良健太さん(26)は「収穫の時は一番楽しい。家族も応援してくれ」と生き生きとした表情だ。

国的に激減。その際、活路として注目されるようになったのが農福連携という。鳥取県は10年度から全国に先駆けて農福連携を支援するプロジェクトチームを作った。特産のナシやラックイウ栽培などで障害者が働ける場の確保を目指し、農業技術の習得の後押しを進める。

香川県ではNPO法人が11年度から、種の植え付けや収穫などの個別作業で農家と障害者施設をつなぐマ

津

挑戦続ける忍耐力を

京都賞受賞 二村さんら講演

第33回京都賞(稲盛財団主催)を受賞した富士通研究所名誉フェローの三村高志さん(72)(先端技術部門)ら3人の記念講演が11日、左京区の国立京都国際会館で行われ、約750人が聞き入った。

衛星放送の受信アンテナなどに応用された「高電子移動度トランジスタ(H-EMT)」を発明した三村さんは、幼少期に見たカラ

「異質で予想外のものか

「異質で予想外のものか

「異質で予想外のものか

「異質で予想外のものか

巣穴から顔を出すチンアナゴ(下京区で)



ニョロリ111匹

見た目が数字の1に似たアナゴ科の海水魚にちなんで「チンアナゴの日」の11日、京都水族館(下京区)で、チンアナゴ111匹を展示し、特徴などを解説するイベントが行われた。

チンアナゴは日中、体長30~40センチの体の一部を巣穴から出して水に漂いながら過ごす、詳しい生態はわかっていない。

来場者らは、縄張り争いで威嚇しあったり、巣穴を引っ越したりするチンアナゴの姿を水槽越しに観察。右京区の紺野真保ちゃん(4)は「ゆらゆら揺れてかわいい」と話した。

府によると、府内では農作業中心の就労支援を手がける障害者施設が75ある。さんさん山城以外でも、与謝野町の「リフレかの里」は、農家と協力して規格外の作物を有効活用した野菜・果物ジュースを開発し、人気を集めている。

府は、こうした施設に専門的な助言を送る「きょうと農福連携センター」を5月に設立、府障害者支援課が事務局機能を担う。今年度から新規事業として1億1500万円の予算を確保。農作物加工の設備投資や独自の製品開発に挑む

府は、こうした施設に専門的な助言を送る「きょうと農福連携センター」を5月に設立、府障害者支援課が事務局機能を担う。今年度から新規事業として1億1500万円の予算を確保。農作物加工の設備投資や独自の製品開発に挑む

施設を積極支援する姿勢を打ち出している。ユニークなのが、各障害者がどのような農業技術を習得しているかを認証する新たな「キャリア認定証」の創設だ。実務経験の長さやどの作業が得意かなどを客観的に評価し、「上級」「初・中級」といった認定パスを作る構想で、将来的には障害者が履歴書に記載し、就労の参考資料に活用できるようにする考えだ。年内に制度を設計し、年明けから希望者への実地研修を行い、早ければ来年度当初からスタートさせる予定だ。

習得技術認定証に 府、制度創設へ

京丹後で囲碁大会 愛好家ら腕競つ

全日本少年 サッカー 府大会

年間約16,000台の信頼

眠ピアを

として、日本赤十字社等を通じて寄付されます。

はちみじおうがん (丸薬)

八味地黄丸 第2類医薬品

1800粒(1ヶ月分) 5,400円(税込み)
5400粒(3ヶ月分) 12,960円(税込み)

体力中等度以下で、疲れやすくて、手足が冷えやすく、尿量減少又は多尿で時に口渴がある次の諸症に(効能・効果)があります。

適応症: 下腰痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、

耳鳴り・自律神経失